

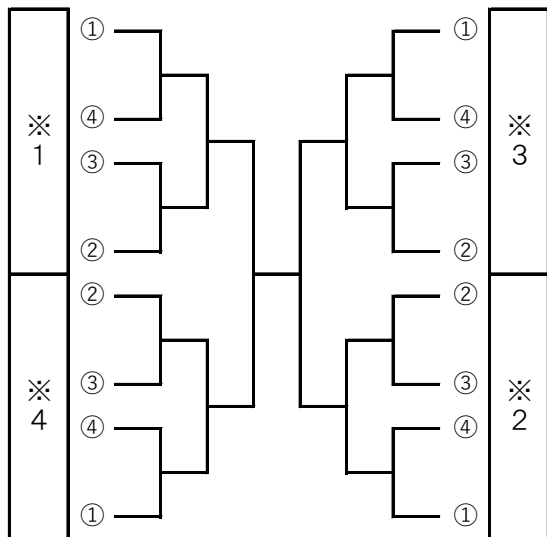
## 県大会組合せの基本原則

### 1 学校対抗

(1) シード対象大会

新人県大会 → 総体県大会 → 新人県大会

(2) 組合せ手順

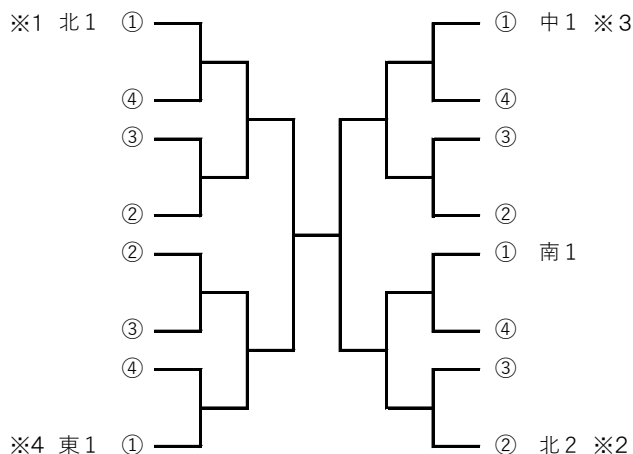


- ① 地区1位
- ② 地区2位
- ③ 地区3位
- ④ 地区4位

1. 前大会のベスト4をシード (※1~※4) とし、ランキング順に※1~※4のブロックの配置する。(ブロック内①~④の位置はシードにより変動する)
2. シードを持たない地区の1位校を抽選により配置する。
3. 以降同様に2位, 3位, 4位・・・8位校を地区ランキング順に抽選により配置する。  
(同地区1位校と2位校が左右に分かれない場合もある)

[例1]

前大会	1位	2位	3位	4位
	北	北	中	東

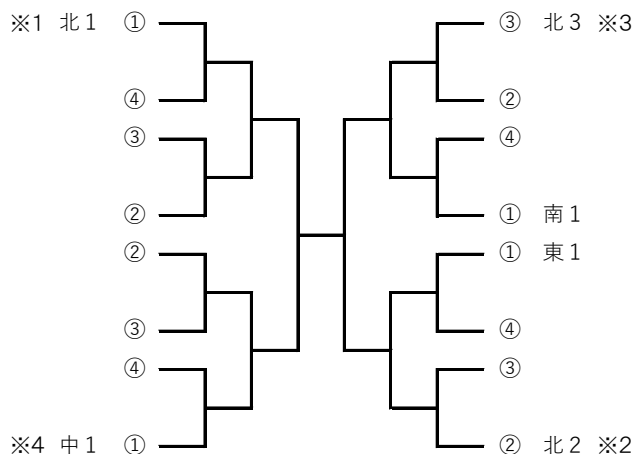


南1位は自動的に配置

2位校以降は北→中→東→南の順に抽選  
(地区ランキング順に抽選)

[例2]

前大会	1位	2位	3位	4位
	北	北	北	中



東1と南1を抽選により配置

2位校以降は北→中→東→南の順に抽選  
(地区ランキング順に抽選)

## 2 ダブルス

### (1) シード対象大会

保有ポイント順にシードを行うため、シードを廃止する。

### (2) 組合せ手順

1. 「ダブルス地区予選のポイント」および「ダブルスペア2名のシングルス（県ジュニア・国スポ県・地区）保有ポイント合計」の合計により順位をつける。
2. ダブルス地区予選のポイント  
1位：13点　2位：10点　Best4：7点　Best8：4点
3. ポイントをもとに学校バランスを配慮しながら配置する。1回戦での同地区対戦を考慮する。
4. シングルス保有ポイント対象大会（※1. 記載）に出場していない選手については専門委員会で協議の上、ポイントを与える場合がある。（シングルス組合せ作成時と同様）

## 3 シングルス

### (1) シード対象大会

中部日本(ジュニアの部)県予選 → 全日本(ジュニアの部)県予選 → 新人県大会 →  
県ジュニア卓球選手権 → 国スポ県予選 → 総体県大会

### (2) 組合せ手順

1. 地区予選のポイントおよび前2大会の県大会のポイントの合計得点により順位をつける。  
（例：新人県大会の場合　新人地区大会 + 全日本(ジュニアの部)県予選 + 中部日本(ジュニアの部)県予選）
2. 地区予選のポイント  
1位：13点　2位：10点　B4：7点　B8：4点　B16：1点
3. 県大会のポイント  
1位：24点　2位：20点　B4：16点　B8：12点　B16：8点　B32：4点
4. ポイントをもとに学校バランスを配慮しながら配置する。1回戦での同地区対戦を避ける。
5. シード対象大会に出場していない選手については専門委員会で協議の上ポイントを与える場合がある。